

網島ひとつプラン ニュース

第6号

2015年(平成27年)4月1日発行

特集

災害時要援護者支援事業の取組事例

ひろがる理解がひろがる、担い手がひろがる、ネットワーク部会からのレポート第二弾！

前号から、網島地区の災害時要援護者支援事業の取組事例の紹介を始めました。

この災害時要援護者支援事業に取り組む活動は、それぞれの地域に合ったもので良いかと考えます。前回は、比較的小規模(200〜300世帯)な網島西広町自治会の取組の第一歩をご紹介しました。今回は、網島地区の中で二番目に大規模な自治会(2,100世帯)の網島東町自治会の取組をご紹介します。

網島東町自治会では災害時要援護者支援事業の取組は、現在、検討中です。そこで網島東町自治会が構成組織として参加している網島東小学校地域防災拠点の昨年の訓練で「災害時要援護者支援事業」の地域連携対応例として実施したので、訓練全体の取組と併せてご紹介いたします。

この取組が、これからの災害時要援護者支援事業の啓発と、取組へのヒントになるものと思います。

網島東小学校地域防災拠点における

災害時要援護者訓練の取組

〜地域防災力は、そこに住む人々の力で〜

「網島東小学校地域防災拠点訓練」は、「中町」「東町」「親友会」「東親和会」の4自治会で毎年実行し、昨年は11月16日(土)に実施しました。

今回の訓練に際しては、地域内の独居者等の

災害時要援護者をいかに扱うかを議論しました。民生委員が把握している名簿は、防災拠点運営委員には、個人情報を守るとして開示されません。しかし、地域の支援が無いと要援護者の皆さんが「孤立」してしまいます。そこで、防災拠点運営委員会では、「救急救命班」と「民生委員」が協議して、民生委員が案内し、救急救命班がリヤカーによる避難者搬送グループを結成し、防災拠点へ搬送しました。2コースで見事な連携で無事搬送されました。道路の段差や階段でのリヤカー対処など種々体験・検証することが出来ました。

網島東地区には、15,000人を超える住民が生活をしています。そして、各種団体も防災に対する取り組みをしています。これらの縦割りで活動しているため、十分な役割を果たせない部分も見受けられます。今後は、こうした「地域で必要とされる住民の目線」で組織をクロスオーバーさせ、防災力を一層強め、役割を果たせるようにしていくことが、大変重要だと思います。網島東地区が「日本一安心・安全な街」となるには、住民の皆さんが「地域の安心・安全のために何ができるのか」という原点に立った心構えを胸に、一つひとつをみんなが主役で具現化していくことが重要ではないでしょうか。

防災拠点訓練のテーマ

〜地域の安心・安全は、

みんなが主役の防災力で〜

防災拠点の役割は、災害時における避難訓練をベースに、要援護者や被災者の救出救護、円滑な避難所運営の確保などにあります。訓練に参加される地域の人たちも主役の意識をもっていただけよう以下の五つのテーマを掲げて取り組みました。

①主体的な参画で、「ボトムアップ」の訓練に。
②地域の防災関連団体との連携で総合力を。

消防団、民生委員、家庭防災委員、アマチュア無線、PTA、防災協力農地等との連携で、すそ野の広い地域防災力の強化を図ることで、運営側に立つ人々が増えて総合力としての地域防災力が強化されるとの考えに立ってのものにしました。

③防災リーダーの養成をして、地域防災スキルの向上。

自治会の補助を得て「救急救命ライセンス研修会」を実施し、横浜市消防局長からのライセンスを授与された方が、地域に52名誕生しました。これは、地域の「安心・安全」の向上につながる街づくりの第一歩ではないかと思えます。

④ 防災訓練と避難所運営の両面で行う。

⑤ マンネリを打破し、住民ニーズにあったものに。

ペットと共にしている世帯が増え「家族化」した中で、区役所の協力を得て「ペット避難所」を初めて展示しました。また、参加者が身に付けるために体験したい訓練を自ら選ぶという「訓練体験カード」で実施しました。（編集部要約）

綱島東小学校地域防災拠点運営委員会
会長 藤沢 敏



要援護者訓練の様様

自治会町内会紹介コーナー（第4回） 綱島東親和会

1 自治会の概要

綱島変電所裏側の鶴見川沿いにある自治会館と子供広場で役員、有志の協力を頂き全ての行事を楽しく行っています。

2 自治会の規模と世帯数

(1) 世帯数 886世帯

(2) 町会の班数

*11区長（1年交代）、34班（半年交代）

(3) 自治会のエリア

綱島東五丁目、鶴見区境東急住宅

3 組織

会長 長友美和子、副会長 結城三四治
副会長 安藤恵子

*会長、副会長（2）、会計、監査、その他、11地区役員含む、15名で構成。

① 役員会の開催：基本的には月1回、定例役員会を開催。

② 役員・班長合同会議：年2回開催。

4 活動

① 環境事業として、毎週土曜日廃品回収を実施。

② 安全・安心環境づくりとして、毎月の防犯灯点検、防災訓練を実施している。従来、月2回実施していたパトロールは、現在検討中。

③ 社会教育活動として、老人会を親和クラブが行っている。そのほか連合自治会イベントへの参加。

④ レクリエーション事業として、親和会独自の活動で桜まつり、盆踊り、夏まつり、旅行、敬老会赤飯配布など、行っている。

⑤ 福利厚生事業
※自治会で把握している高齢者：78歳以上152名（平成24年度、町内会加入者）70歳以上330名

地域活動の様子



盆踊り



防災訓練

つながる

まちを知る、ひとを知る、活動がにつながる

地域交流部会からのレポート！

第4回「ふれあいの家」を開催しました

9月度の報告をいたします。

実施日時 9月24日（水） 14時より

場所 金子邸（綱島東4丁目）

内容 唱歌、歌謡曲とうの合唱約50分

その後茶話会等で15時30分解散した。

参加者 11名（男2、女9）、スタッフ4名

樽町ケアプラザ職員1名

当日は台風17号の影響で昼頃より時々雨が降り参加者の出足が心配されましたが、開始前は止んでおり、初参加3名を含め思ったより多く人の参加を得た。

第5回「ふれあいの家」を開催しました

10月度の報告をいたします。

実施日時 10月22日（水） 14時より

場所 親友会館

内容 高齢者向けエアロビックス、懇談

参加者 14名、スタッフ5名

当日は朝より雨が降っていたが参加者は今までの最多であった。

また、東町の各地域より参加者があった。

第6回「ふれあいの家」を開催しました

11月度の報告をいたします。

実施日時 11月26日（水） 14時より

場所 金子邸（綱島東4丁目）

内容 茶話会（フリータイム）

参加者 10名、スタッフ6名

第7回「ふれあいの家」を開催しました

1月度の報告をいたします。

実施日時 1月21日（水） 14時より

場所 親友会館

内容 ストレッチ体操、懇談

参加者 6名、スタッフ5名

午前中雪が降り心配されたが開始直前に止んでよかったです。

第8回「ふれあいの家」を開催しました

2月度の報告をいたします。

実施日時 2月25日（水） 14時より

場所 金子邸（綱島東4丁目）

内容 茶話会（フリータイム）

参加者 14名、スタッフ6名



合唱の様子



エアロビックス体操の様子



体操の様子

1 親友会館では、田原さんの指導で高齢者向けエアロビと懇談。

2 金子邸では長友さんの指導で唱歌、歌謡曲の合唱と懇談。

3 懇談ではお茶を飲みながらの雑談、綱島の昔の様子など、桃が有名なったのは何故？等、皆さん顔見知りになり話に花が咲くことも多くなった。

4 男性の参加者は2〜3名である。奮って参加いただきたい。

平成26年度「ふれあいの家」開催状況

回数	開催日	会場	参加者	スタッフ
第1回	5月21日	親友会館	0名	10名
第2回	6月25日	金子邸	8名	8名
第3回	7月23日	親友会館	11名	10名
第4回	9月24日	金子邸	10名	17名
第5回	10月22日	親友会館	14名	6名
第6回	11月26日	金子邸	10名	6名
第7回	1月21日	親友会館	6名	5名
第8回	2月25日	金子邸	14名	6名

第4回～8回：下期（H26.10～H27.3）開催

綱島ふれあい広場～



綱島地区社会福祉協議会のコーナー

平成26年度事業報告

① 綱島菜の花まつり

平成26年度トップを飾ったのは4月6日の鶴見川の河川敷での菜の花まつりでした。花はみごとに咲きました。天候に恵まれず雨中での祭りとなりました。

花の種を戴いた長野県中野市長がわざわざ駆けつけられ、中野市と綱島のつながりがさらに深まりを強めました。

② 綱島さくらまつり

3月29日(土)、綱島公園で桜まつりが開催されました。昨年は桜の開花が早く、桜まつりには残念ながら散ってしまいましたが、今年は天気も良く初夏の陽気を感じさせるなか、満開の桜の下で絶好の桜まつりとなりました。

③ 綱島少年すもう大会

8月2日、3日綱島少年すもう大会が綱島小学校で、子どもたちの健全成長を願って行われました。年少組や女の子達も大勢参加して、父兄の方たちの応援を受けて熱戦を展開いたしました。立派な土俵入り等も披露され二日間熱気にあふれた大会となりました。

④ わんぱくお化け大会

8月16日綱島地区センター体育館で先生を招いて宇宙の不思議なお話を聞いた後、夕食のカレーライスを食べ、7時より綱島公園でお



化け大会がおこなわれました。仮面をつけたお化けが出るたびに悲鳴があちこちで聞かれ真夏の風物詩でした。

⑤ 敬老祝賀会

9月15日敬老祝賀会が綱島地区センター体育館で行われました。約1,200名の高齢者をご招待し600余名の方が参加しました。100歳、90歳の方が表彰され昼食を喜んでカラオケ、踊り、将棋等を楽しまれました。益々のご健康をお祈り申し上げます。

⑥ 綱島地区スポーツフェスティバル

平成26年10月12日(日)、毎年恒例の第26回となる綱島地区スポーツフェスティバルが、盛大に開催されました。大型台風19号の接近で、お天気が心配でしたが、さわやかな秋の陽気の下無事開催できました。



⑦ 住民向け啓発活動講座(第2回)

11月11日音楽療法の高橋亮太郎先生を迎えて綱島地区センターで行われました。楽器を使ったり、歌を歌ったりの認知症予防講座が開催されました。56名の方に参加いただきました。

⑧ 信州中野研修旅行会

11月18日、19日研修旅行が行われました。中野市は十数年来の綱島地区センターでのそば打ち出張教室や菜の花の種を戴いたりしている関係で親しいお付き合いです。唱歌「ふるさと」の原風景が残っており、その素朴さに心清められ地元の方の対応に心温められました。



すずなりのりんご狩りや、自分たちで打ったそばをいただき充実した二日間となりました。

⑨ 第九演奏会

港北芸術祭参加事業の一環として、毎年恒例の「第九演奏会 2014」が開催されました。12月21日(日)師走の1日、港北公会堂で歓喜の歌声が響きました。



⑩ 今年度も年末たすけあい募金をお届けいたしました。皆様の善意によって集まった浄財が福祉施設や福祉団体に、要援護世帯には民生児童委員を通して届けられました。

⑪ 平成27年度綱島賀詞交歓会開催

1月8日恒例の賀詞交歓会がザ・ニューオークラで開催されました。横山港北区長他多数のご来賓者や綱島地区の主だった仕事をされている方達多数が参加され、会場満席の盛況でした。終わりに万歳により今年の綱島地区の発展を誓いました。

⑫ 社協研修会

綱島に相鉄線乗り入れや駅周辺の再開発など計画が進んでいます。街の文化の香りを高めたいと文化会館の設置を進めていますがこの度、目処がつかまりましたので2月12日先行して設置されている長津田駅前や緑区民文化センターを見学勉強する日帰りバス研修会を開催する事と致しました。(47名参加)

元気でふれあうまち 網島

2015年(平成27年)4月～2015年(平成27年)9月

イベントカレンダー

開催日		イベント	会場	主催	
27年	4月	4日(土)	第7回菜の花まつり	鶴見川河川敷	網島地区連合自治会
	8月	1日(土) ～2日(日)	第48回網島少年すもう大会	網島小学校 (相撲場)	網島地区連合自治会 網島少年すもう大会実行委員会
		8日(土) ～9日(日)	第7回「みんなで元気」 網島盆踊り大会	網島小学校校庭	網島地区連合自治会 網島盆踊り大会実行委員会
		15日(土)	わんぱくおばけ大会	網島地区センター 及び網島公園周辺	わんぱくおばけ大会実行委員会
		29日(土) ～30日(日)	諏訪神社例大祭	諏訪神社 及び網島地区各所	各自治会町内会「神輿会」
	9月	21日 (祝月)	網島地区「敬老祝賀会」	網島地区センター (体育館)	網島地区連合自治会 網島地区社会福祉協議会



菜の花まつり



少年すもう大会



網島盆踊り大会



わんぱくおばけ大会



諏訪神社例大祭



敬老祝賀会

編集後記

前号の編集後記の続編になるが、ひつとプラン推進の道を歩いていて「迷子になった編集子」は、依然として「迷い」から戻っていません。

昨今、今の世の中のことを、「自己中心主義、社会や地域コミュニティとの関係の希薄化」などとよく言われています。これって一年や二年でそうなったわけでもないし、日本の全部の地域がそうだとはいえないのではないのでしょうか。素晴らしい地域もあります。今から、二十年前の平成七年一月に起きた「阪神淡路大震災」で北淡町(現在は、合併して淡路市;淡路島の西北端にある町)では、発生から約一時間で捜索救助活動・遺体収容が完了したそうです。これは近隣住民などの「顔見知りコミュニティ」があり、安否確認が数時間で出来たことによるものだそうです。地震発生確率が日本一の横浜市の中で、今、網島地区に震度六以上の巨大地震が起きたら、一体どうなるだろうか。毎日、睡眠不足が続いている「迷子の編集子」である。災害時要援護者支援事業で地域コミュニティの復活を祈りたい!

